

氏 名：渡邊 哲朗

派遣元：静岡県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：総括担当

私は、平成29年4月から静岡県庁から派遣され、行政実務研修員として1年間OJT研修に参加させていただきました。政策企画・法制担当として部局内の法令や各種計画に関するとりまとめ等に携わりました。特に、災害対策基本法の改正に関する検討を行い、法についての知識を深めることができたことは、防災行政のみならず様々な分野で活用できる貴重な研修となりました。

また、7月の九州北部豪雨の際には、現地に派遣され、災害現場や避難所の状況について目のあたりにし、災害の規模の大きさ、悲惨さについて実感し、防災行政について考えさせられる良い経験となりました。

静岡県は、南海トラフ地震をはじめ大規模災害が想定される地域ですが、内閣府での経験を活かして、引き続き県民のため防災・減災の取り組みを進めていきたいと考えています。

氏 名：小宮 昂洋

派遣元：千葉県

派遣期間：H29.4.1～H29.10.31

所 属：総括担当

私の担当は、主に国会関係及び自治体等からの要望活動に対する調整業務でした。特に国会関係の業務では、官邸や国会に入る機会も多く、非常に貴重な経験をさせていただきました。

私が今回の研修を通じて一番感じたことは、一見さっぱりと決まっているように見えることも内部では多くの関係機関と調整を行っているということです。

また、災害関連の諸制度は大きな災害があるごとにその教訓を踏まえ柔軟に変更されているということを感じました。

今後、千葉県で防災行政に携わるにあたり、こうした国の最新の動向の把握に努め、発災時に的確に対応できる職員を目指していきたいと思えます。

氏 名：島田 翔貴

派遣元：茨城県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：総括担当

私は、広報・広聴担当として、報道機関への情報提供、SNSによる情報発信、大臣会見のサポートなど内閣府防災担当における広報業務に広く携わらせていただきました。

特に災害発生時のSNSによる情報発信については、昼夜問わずいち早く国民に情報を届けなければならない、また内閣府として正確な情報を発信しなければならないという責任感もあり、緊張の連続でしたが、誇りとやりがいの大きな仕事でした。

研修を通じて、日本の防災は、国、地方公共団体、民間企業、研究機関等様々な立場で防災に携わる方々の連携が基礎にあることを実感し、自県に戻った後も内閣府で築いたネットワークを育て、災害時はお互いに支え合える関係を継続していきたいです。

氏 名：深沢 健

派遣元：山梨県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：災害緊急事態対応担当

私は、災害緊急事態対応担当として1年間勤務させていただきました。業務内容としましては、主に災害時における医療活動分野の特定課題への対応を行い、医療モジュール（可搬型の医療資器材）の活用についての検討や医療活動訓練の全体調整などに取り組みました。業務を進めるにあたっては、多くの有識者や関係省庁と関わることとなり、専門的な知識や国としての考え方など多くのことを学ぶ機会となりました。

その他、豪雨や大雪に伴う災害の初動対応に携わることができ、とても貴重な体験となりました。

この1年間で得た知識や経験、人脈は貴重な財産であり、これらを本県の防災力向上に生かしていきたいと思えます。

氏 名：本多 貴将

派遣元：大分県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：災害緊急事態対応担当

1年間の研修でしたが、計画類の改定や災害時の物資調達及び帰宅困難者等への対応を主に担当し、災害対応における具体的なテーマを直接扱うことができたことは大変勉強になりました。

机上だけでなく、平成29年7月九州北部豪雨の際には現地へ派遣され、政府現地連絡調整室の設置・運営等についても実際に経験することができました。

また、これらの業務を通じて、国・自治体・関係機関とも直接関わることができ、内閣府だからこそその繋がりを構築できたことは、今後の大きな財産だと思います。

これらの業務経験と繋がりを持ち帰り、今後の大分県での災害対応や国等との連携の際に活かしていきたいと思えます。

氏 名：武藤 崇記

派遣元：ソフトバンクモバイル（株）

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：災害緊急事態対応担当

災害緊急事態対応室において、大規模地震の具体計画の改定に携わり、災害発生時の国の応急対応の知識を得られたことは、災害対応力の向上につながりました。

また、政府調査団の一員として、九州北部豪雨、福井県の大雪被害等の現場に足を運び、実際の災害現場では、どのようなことが起こっていて、どのような対応がなされているのかを、この目で見たことは、貴重な経験となりました。

1年間の業務・研修を通じて得た知識、経験、人脈は、大きな財産となりました。

これからは重要なライフライン（通信）を守る機関として、責任を全うしていきます。

※平成30年5月7日、氏名の誤記を修正しました。

氏 名：桑田 啓二郎

派遣元：広島県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は地方訓練室で主に「防災スペシャリスト」養成のための研修の企画・運営に携わりました。

メイン事業である「防災スペシャリスト養成企画検討会」は、防災の分野において第一線で活躍される有識者から構成されており、その高い知見を感じ、人材育成の方法について学ぶことが出来ました。

その他にも有明の丘研修では事務局と受講生の立場ではありましたが、全コースを受講させて頂き、多くの受講生や講師の方と交流することができました。

また平成29年7月の九州北部豪雨災害の際には、政府現地連絡調整室の一員として被災地へ派遣され、現場の政府の動きを間近で感じ、大変貴重な経験をさせて頂きました。

今後もここで得た防災の知識と人的ネットワークを大切にしていきたいと思えます。

氏 名：下釜 悠輔

派遣元：長崎県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：地方・訓練担当

この研修で私が得た大きな成果は、災害対応の全体像をイメージできたことと、災害対応において地方自治体に求められる役割（受援体制の整備等）を学べたことです。この研修を受講する前は与えられた役割をただ行うだけでしたが、今後は担当する業務が全体でどの位置付けなのかを理解し、イメージすることで、他部署や関係機関とも、平時からもっと災害時の対応を意識した取り組みができるのではないかと思います。

また、地方自治体単位であれば、実際の災害対応を経験する機会が持てないこともありますが、政府の立場に立つことで、現実として何等かの災害対応の実務に携わる機会が持てることが本研修のメリットであると思えます。

氏 名：大方 陽平

派遣元：和歌山県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：調査・企画担当

私は、調査・企画担当において、主に風水害対策の検討業務に携わりました。

本研修では、様々な機会を通じてたくさんの方々を知ることができ、防災分野の幅の広さを認識することができました。

業務を進める中で、各種調査や検討にあたり、他の省庁や自治体、民間機関などの多くの関係機関との連絡・調整の大変さや難しさを感じるが多々ありました。その調整をする中で、相手の考え方を理解するために、内閣府が担当する所管以外のことも学ぶことができ、災害から国を守るために、熱い志を持った多くの方が力を合せて業務を進めていることも実感できました。

本研修を通じて学んだことや人脈を派遣元の業務に活かしたいと思っています。

氏 名：北島 利喜

派遣元：広島県 広島市

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：普及啓発・連携担当

私は普及啓発・連携担当に配属され、災害被害を軽減する国民運動に従事しました。そこで学んだことは、防災とは生活そのものだという事です。日本に住んでいる以上、災害は生活に密接に関わってきます。普段の生活から防災の視点を取り入れることで、未然に防げたり、被害を軽減できることはたくさんあります。一方、災害は経験しないと、なかなか自分ごとと思うことは難しく、災害を予防するという意識を持ちにくい分野でもあります。それをいかにして、国民のみなさまに意識させるかを、1年間考え実行してきたことは非常によい経験となりました。この1年間で学んだことや多くの方々と結ぶことができたネットワークを活かし、今後も日本の防災行政に貢献できるよう業務に従事していきたいと思えます。

※平成 30 年 5 月 7 日、派遣元の誤記を修正しました。

氏 名：下西 総一郎

派遣元：宮崎県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：被災者行政担当

私は、被災者行政担当室の避難所担当として、避難所における良好な生活環境を確保するための調査業務や、要望対応、調整等に携わり、内閣府として何ができるのかを考え、日々業務を行ってきました。

災害時における、避難所に関するニーズは多種多様であるため、避難所に関連がある様々な省庁・団体等と、会議・打ち合わせを行う機会が多々ありました。その分、幅広い知識が必要となりますが、関係省庁の防災対策業務を知ることができたので、非常に勉強になりました。

広範な分野において、関係行政機関と連携を図り、国が丸となって取り組んでいる防災対策に、最前線で携わることができたことは、貴重な経験となりました。

氏 名：原田 淳

派遣元：愛知県

派遣期間：H29.4.1～H30.3.31

所 属：被災者行政担当

平成 29 年 7 月九州北部豪雨をはじめ、様々な災害に見舞われ、その都度、迅速適切に行われる国の対応について実務を通じて学ぶことができたのは、とても勉強になりました。

また、日常業務とは別に「防災スペシャリスト養成研修」をはじめ、様々な研修や講義、施設見学等のカリキュラムが充実しており、幅広く受講することもできました。

今後もOJT研修により得た知識と経験とネットワークを愛知県の業務に活かしていきたいと思えます。

氏 名：植山 友隆

派遣元：神奈川県 大和市

派遣期間：H29.10.1～H30.3.31

所 属：事業推進担当

神奈川県大和市より行政実務研修員として、内閣府（防災）の事業推進担当に半年間、勤務いたしました。

私はこれまで、防災関連の部署で勤務したことがなかったので、自分の詳しくない、弱点分野に携わることにより、市に成長して帰ることができればと思って、半年間過ごしてまいりました。

防災は、防災部局だけで対応できるものではなく、それぞれの部署には防災時にそれぞれ役割があり、その意識を持って通常業務に従事していくべきことを実感いたしました。

自治体と国とでは、仕事の視点・仕方が大分違うと感じる中、半年間、別の組織で勤務した新たな経験を糧とし、市に戻り、市民のために業務に従事していきたいと考えます。